

# 第1回まちづくり専門部会のまとめ

- ・現在の構想は震災前の策定で防災の記述が少ない
- ・基本構想の継続性が必要
- ・足立区の強みをアピールする

## 自然資源・環境対策などの強み

### 【環境対策】

- ・環境対策は強みとしてアピールすべき
- ・気候変動による影響（豪雨）

### 【防災】

- ・老朽家屋対策はやっているが、無接道家屋は未着手
- ・防災面でも老朽家屋対策が必要
- ・改善するための制度改正が必要
- ・密集地域がまだたくさんある
- ・水害対策タイムライン

### 【災害弱者】

- ・障がい者は被災時に逃げられない
- ・災害弱者が逃げなくても良いまち（不燃化・耐震化など）

### 【防災に対する区民意識】

- ・区民の防災に対する意識啓発が必要

### 【自然資源】

- ・川と緑を活かしたまちづくり
- ・川を活用した物資の輸送
- ・リバーステーション（川の駅）

### 【コミュニティ】

- ・集合住宅（ワンルーム）より戸建ての方がまちへの影響が大きい
- ・賃貸は自治会加入率が低い
- ・お祭りをきっかけに入る若い世代もいる

## 安心して住み続けられる

### 【国際化】

- ・外国人が増えている

### 【防犯】

- ・自転車盗の犯罪件数は増え始めている

### 【少子高齢化】

- ・担税力ある若者の転入
- ・若年層を呼び込む魅力あるまちづくりが必要
- ・少子高齢化に備える
- ・高齢者にもやさしいまち

## 前提となる課題

### 【財政見通し】

- ・限られた財政の中でのメリハリが必要
- ・維持、保守の負担も考慮
- ・インフラ整備による将来的な問題を予測し整理する

### 【交通網】

- ・東西の交通網が不足している（大環状網の整備）
- ・都市計画道路は進捗により見直しが必要
- ・交通空白地域に住む人は大変
- ・交通空白の低減は成果である

- ・今後、インパクトがある事業が予定されている（北綾瀬の始発駅、鉄道立体化、地下鉄8号線、都営住宅建替による余剰地活用）

### 【集合住宅】

- ・戸建より集合住宅が増える
- ・集合住宅が将来スラム化しないように計画的修繕を
- ・ワンルームマンション（住民税納付せず行政サービスは享受）
- ・一定の規制は必要
- ・貧困ビジネスにつながる住宅

## 優先順位、メリハリ、ルール（規制）の必要性

### 【ルールづくり】

- ・まちづくりに対応できる柔軟なルール、仕組み

### 【跡地活用】

- ・公共施設との整理が重要
- ・学校跡地などの活用方針

## 今後の可能性を活かす

### 【民間活力】

- ・大学誘致やエリアデザインはいい
- ・エリアデザインは優先順位をはっきりさせる
- ・ポテンシャルが高い区。優先順位や効率性を考えて開発を。
- ・まちづくりにおける地元への還元という視点が必要
- ・民間資本を活用する仕組みづくり
- ・民間活力に対して一定の規制が必要ではないか

### 【集客】

- ・小規模企業は後継者不足。会合を開く場所なし
- ・外国人を招待できるAクラスのホテルが必要

## 人を呼び込む魅力づくり

### 【文化】

- ・美術館、資料館など
- ・個人所有美術館の活用
- ・区の財産として残す

### 【医療】

- ・医療タウンの創出（クリニックモール）

### 【地域特性】

- ・地域ごとの特性を生かす
- ・住む場所の選択肢があるまち

### 【景観・街並み】

- ・「景観、街並みが魅力的か」の評価は低くなっている